

「第 57 回真空に関する連合講演会」における オーガナイズドセッションの提案採択について

日本真空学会 講演・研究会企画委員会

日本真空学会では、会員の関心のある特定分野の研究成果に関わる学術的な議論をより活性化し、学術情報の交換と新たな知識の創造の場としての学会機能を強化するため、本年(2016年)11月29日～12月1日に開催される「第57回真空に関する連合講演会」において会員の直接的な提案に基づく「オーガナイズドセッション」を開催します。そのため6月1日(水)締切にて皆様からのご提案を募り、審査の上で下記提案の採択を決定しましたのでご報告いたします。なお本件の開催には、講演・研究会企画委員会が連合講演会プログラム委員会の協力の下で行います。

記

- | | |
|--------------------------|---|
| 1. タイトル | スパッタリング成膜技術の新展開 |
| 2. 提案者 | 日本真空学会スパッタリングおよびプラズマプロセス技術部会 (SP 部会)
代表者：沖村邦雄 (SP 部会長, 東海大学・工学部) |
| 3. 提案するオーガナイズドセッションの形式 | 貸切セッション型 |
| 4. 提案するオーガナイズドセッションの提案方式 | セット提案型 |

※本セッションに対する一般講演の申込は「第57回真空に関する連合講演会」の一般講演申込に合わせて行いますので、講演希望者は申込期間(2016年6月20日～7月19日)中に連合講演会ホームページよりお申込ください。(<http://www.vacuum-jp.org/CONFV/asvsj2016/>)

以 上

オーガナイザからのメッセージ:

スパッタリング成膜技術は、従来技術の高度化と新規なスパッタ成膜技術の進展を成し遂げつつあります。従来技術の高度化では気相反応や膜堆積プロセスの理解、基板入射粒子制御に基づく薄膜物性制御が進展しています。また、新規スパッタ技術として HiPIMS と呼ばれる高強度パルスマグネトロンスパッタ成膜技術が世界中で応用され始めています。そこで本セッションでは上記のようなスパッタ成膜技術の進展に関連する研究成果の発表をお待ちします。会員の皆様には是非とも奮ってお申し込み頂きたくお願い申し上げます。

(沖村邦雄)

(参考)

1. オーガナイズドセッションの形式
 - ① シンポジウム型: 一つのテーマの下における5~6件の依頼講演によるリレー式講演により, 同一テーマの議論を深める形式.
 - ② 貸切セッション型: 一つのテーマの下における1, 2件の特別講演およびその他の一般講演により, 同一テーマの議論を深める形式.
 - ③ その他: 上記①または②以外の形式. (パネルディスカッション, 技術報告会など)
2. オーガナイズドセッションの提案方式
 - A. テーマ提案型: オーガナイズドセッションの提案者はテーマとその趣旨説明を提案し, 採択の後に講演・研究会企画委員会がそのテーマと趣旨の下でプログラムを具体化した上で, 連合講演会プログラム委員会に提案する.
 - B. セット提案型: オーガナイズドセッションの提案者がテーマとその趣旨説明を提案した上で, 採択の後に提案者自身がオーガナイザとして具体的な講演者の依頼, 一般講演の投稿募集, プログラム編成などを行った上で, その結果を講演・研究会企画委員会が連合講演会プログラム委員会に提案する.